

# 『一円観』は世界を変える！？ 一円対話特集①

第4号 2017年3月27日発行

## ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や  
ご要望に応えるコンシェルジュがいる  
ように、保育においても様々な  
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=  
ミマモルジュとして、保育に関する  
ご要望にお応えしていけるよう  
活動していきます。

株式会社ガヤ 奥山卓矢



二宮尊徳 1787~1856

## 二宮尊徳が会得した「一円観」

二宮尊徳は、1787(天明7)年に相模国、現在の小田原市に生まれました。利根川水路の建設工事の立案など、生涯をかけて農業政策に取り組んだ人物です。尊徳は、成田山新勝寺のお不動さまを深く信仰した人物です。

世の貧しい人びとを救いたい一心で、当山の21日間に及ぶ断食修行を成就させ、その後、農民たちの生活向上のため、多くの疲弊した農村の復興に寄与しました。(成田山新勝寺HPより)

その生涯で様々な改革を実現させた反面、多くの敵を抱えた人生でもありました。それまで復興事業を邪魔するものは悪者でそうした気持ちは相手に伝わっていました。

二宮尊徳は、この21日間に及ぶ断食・修行で至った境地が、「一円観」と言われ、

「打つところあれば打たるる世の中よ

打たぬところの打たるるは無し」と詠んだそうです。

(人には絶対の善人もいないかわりに、絶対の悪人もない。至誠をもって当たれば、復興事業を妨げる人々の心をも動かすことができる)

かなながらブログ 2007年8月14日より

この一円観をもとに、実践しているのが「一円対話」です。



円を描くように椅子を並べます



アクティビティ  
協力が生まれる「アースゲーム」

**聴福人の  
聴福人(ファシリテーター)選考用紙**

聴福人の役割は、聴福人のファシリテーターに選考をします。  
聴福人のファシリテーターは聴福人の意見を聞き、意見をまとめる役割を担います。  
聴福人のファシリテーターは聴福人の意見を聞き、意見をまとめる役割を担います。

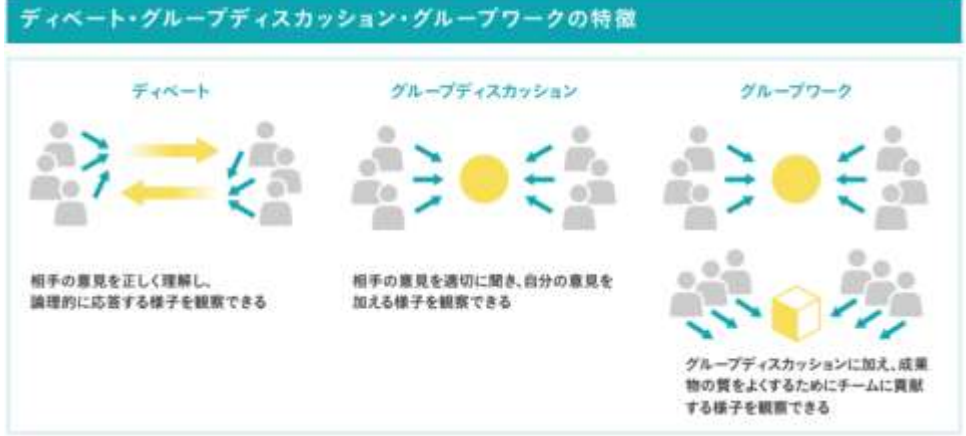
聴福人の役割は、聴福人のファシリテーターに選考をします。  
聴福人のファシリテーターは聴福人の意見を聞き、意見をまとめる役割を担います。  
聴福人のファシリテーターは聴福人の意見を聞き、意見をまとめる役割を担います。

聴福人の役割は、聴福人のファシリテーターに選考をします。  
聴福人のファシリテーターは聴福人の意見を聞き、意見をまとめる役割を担います。  
聴福人のファシリテーターは聴福人の意見を聞き、意見をまとめる役割を担います。

氏名	お名前

※聴福人の役割は、聴福人のファシリテーターに選考をします。  
※聴福人のファシリテーターは聴福人の意見を聞き、意見をまとめる役割を担います。  
※聴福人のファシリテーターは聴福人の意見を聞き、意見をまとめる役割を担います。

進行の役の聴福人は選挙で選出



図：引用元 <https://job.careertasu.jp/2017/guide/study/consulting/03.html>

「一円対話」を簡単に説明すると、丸く椅子を並べ座わりテーマに沿って、一人ずつ順番に話していきます。

そうお伝えすると「ああ～うちでもよく研修でそういうことやってるよ！」と言われる。でも、ちょっと違うのです。ディベートとも、ディスカッションとも、グループワークとも違うのです。確かに、お互いの意見を交わし目標を達成する意味では似ているのですが、上図のようにそれぞれに特徴があるように、「一円対話」にも特徴があるのです。

### 一円対話の特徴

意見を伝えるよりも人の話を聴く。この「聴くこと」に何よりも力を入れているのが一円対話です。多数決で意見が決まったり、議事やタイムキーパーなど役割を持ち、成果を出すのではなく、それぞれの意見（言葉には表れていない想い）を受容し、傾聴、共感することが根本にあり、決して一円対話の場で何かが決まるわけではありません。何かを決める以前に、一緒に働く仲間が今、どんな想いでいるのかそこに目を向け、思いやる風土がなければ、何かを決めてもそれは本当の意味で決まった訳ではないと考えます。

一円対話にはルールがいくつかありますが、そこには「上手に話しましょう！」ということは書かれていません。話す技術の向上を目指すのであれば、聴くよりもプレゼンの練習や話し方教室へ通った方が効果が高いと思います。ただ、いくら論理的に伝えたとしても、受け手は感情的に納得いかな

いことがあります。目的に応じて、グループ形成を変えるように、「一円対話」にも目的があり、意図があるのです。

## 進行手順

- ① 綺麗な一円になるよう椅子を並べる（お互いの顔が見えるように）
- ② 自己チェックリスト（参加前）の記入
- ③ 一円対話の目的とルールの確認
- ④ アクティビティ
- ⑤ テーマに沿って席順を変える
- ⑥ 隣の人の長所、自由テーマ
- ⑦ メインテーマ（理念実践、見守る保育実践をする中での気付き）
- ⑧ 自己チェックリスト（参加後）の記入、一円対話の振り返り

一円対話をする上で大切なのが司会進行役を務める存在です。

私達はそれを聴福人（ききふくじん）と呼んでいます。

聴福人によって、一円対話の中身が大きく左右されると言っても過言ではなく、また参加者の状況に合わせたテーマ選びも重要なことです。

## 一円観から考える席順テーマ

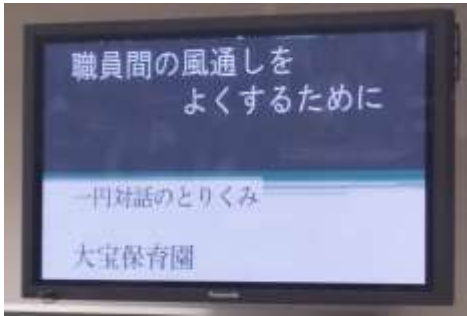
例えば席順「今朝の早起き順」としたら、「5時、5時半、6時半…」のように参加者の対話や会話はさほど生まれません。

そうではなく「スポーツをする時攻め派か守り派か」で問うと、「過去こんなスポーツをしていた、守りにいつも徹している」など聞かないと分からないお互いの意外な一面を聞けます。そして何よりも大切なのが、攻めも守りもチームにおいてはどちらも大切ということです。

「絵を上手に描く順」とした場合、その並びは後半になるにつれて、絵を描くのが苦手な人ということになります。そうではなく、それぞれの人に表現の仕方が異なり、その人となりを知れそのどれもがいいね！と、お互いを活かし合えるようなテーマ設定を一円観から考えます。

聴福人事前・事後チェックリスト  
一円対話に臨む姿勢を確認します。

一円対話事前、事後チェックリスト  
参加者全員が気持ちを整え臨みます。



一円対話についての実践発表

## 一円対話を通して思うこと

一円対話は現在、全国の保育園で実施されており実践する園が年々増加しています。また、高校でも一円対話を「アクティブラーニング」の一環として取り入れている学校もあります。高校生の彼等を見ていると、「自分もあんな頃あったな～」と、懐かしくなります。ただ、違うのは彼等のようにはクラスメイトのことを全然知らなかったことです。

当時、クラスには40名近くが在籍していました。1年間同じ教室にいたはずなのにろくに話したこともなく、卒業しそのまま疎遠になってしまった友人たちの多いこと…。今思うと、それは東京でマンション暮らしをしていて隣の住人のことを全く知らず生活しているのと、同じような感覚です。

保育園の先生方も同じようなことを言います。「他のクラスのことは正直、分かりません。」「働く時間も、階も違うのであまり話したこともなくて…」そう言ったことをよくお聞きします。

私がカグヤへ入社を決めた理由の一つにインターン期間中に、先生方の一円対話を見て感じた衝撃が大きかったことがあります。自由テーマで「保育士になった理由」をお話してくださいという中で、「子どもが好きで保育士になりました!」「憧れの先生がいて私もその先生みたいになりたいくて!」と話が續くなかで、ある先生の順番が廻ってくると涙ぐみながら「朝起きると子どもたちに会いたくなって思ってしまう自分があるんです…」と聞いた時、「困っているのは子どもたちだけではなく、先生たちも困っているんだ!」と先生方の話しを聞きはじめてその思いを知ったのです。

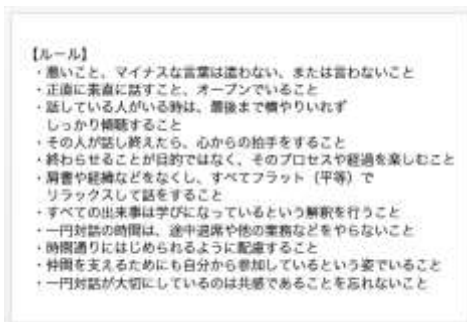
保育士になったきっかけをお聞きするのは、私の好きなテーマの一つです。それはその人のことを知れるからでもあり、話している姿がキラキラしていて、お聞きしていると何だか力が湧いてくるからです。

「保育士になる!」と決めたまっかけを思い出したり、仲間の想いや話しを聴く、それはあるようで実はあまりないと思うのです。子どもたちを見守るように先生方も見守られていると実感できる場が一円対話でもあるのです。

(報告者：株式会社カグヤ 奥山卓矢)



先生方との合同一円対話



一円対話のルール